様式－１

「河川管理施設周辺の空洞化を測定する技術」申請書

平成　　年　　月　　日

国土交通省　九州地方整備局長　殿

応募者名：

印

所在地：〒

電話：

*（応募者が複数の場合は、以下同様に列記する）*

　下記の技術を「河川管理施設周辺の空洞化を測定する技術」として応募します。

記

 　ふりがな

１．技術名称：

　　 （副題）：

２．窓口担当者（選定結果通知先等）

法人名：

所属：

役職・氏名：

所在地：〒

電話：　 ＦＡＸ：

E-Mail：

*（応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者１名を以下同様に列記する。その場合、最初に記載した窓口担当者を代表窓口担当者（選定結果通知先）とする。また、応募者が複数の場合でも、選定結果の通知は、代表窓口担当者宛にまとめて送付する。）*

３．共同開発者

共同開発者名：

 部署：

役職・担当者：

 所在地：〒

 電話：　 ＦＡＸ：

*（共同開発者が複数の場合は、以下同様に列記する。）*

様式－２

技　術　概　要　書

|  |  |
| --- | --- |
| 公募テーマ名 |  |
| ふりがな技術名称（副題） |  |
| 技術の概要（200字以内） |  |
| 技術の詳細（箇条書きまたは参照資料番号・頁を記入）（ポイント箇条書き） | ①応募技術のタイプ（公募要領２ページを参照、双方が可能な場合は「Ａ・Ｂタイプ」と記載）②応募技術の特徴③応募技術が画期的な点④応募技術を使用する場合の条件（注意）など⑤活用の効果⑥概略費用 |
| ⑦特許等取得状況 | 特許 | □有り　　　□出願中　　　□出願予定　　　□無し | 取得年 | 　　　年 |
| 実用新案 |  | 取得年 | 　　年 |
| ⑧建設技術審査証明等 | 制度の名称 |  | 証明機関 |  |
| 番号 |  | 証明年 |  |
| 【参考】 |
| ⑨NETIS登録 | □登録済（登録番号：　　　　　　） | □審査中または受理（技術事務所名：　　　　　　　） | □未登録 |
| ⑩表彰経歴□有り　□無し | 表彰制度名：受賞名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受賞年度： |
| ⑪施工実績 | 国土交通省　：　　　　件　　　その他公共機関　：　　　　件　　　民間：　　　　件　*施工実績のある場合は様式－４　施工実績内訳書に記入すること* |
| 【⑫添付資料一覧】添付資料－１添付資料－２添付資料－３添付資料－４添付資料－５【留意事項】　 | 様式以外の添付資料の一覧を記入*（パンフレット：作成している場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）**（特許等の公開・公告された写し：特許権等の取得状況が該当する場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）**※１　特許等の公開・公告された写しの資料については、公開特許公報のフロントページ（特許番号、発明の名称が記載されているページ）のみとして下さい。**※２　特許の数が多く、１０枚に収まらない場合は、応募した技術の中で重要度の高いものについて添付して下さい。**（公的機関の審査・評価等の写し：評価等が該当する場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）**（表彰経歴：経歴がある場合必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）**（技術検証資料：技術検証資料がある場合は必ず添付→添付できない場合はその理由を記入）**①添付資料については、各１０枚を上限に収まるように要約して作成して下さい。**②「添付資料１～ ５」の中で該当する添付資料が無い場合は、添付資料番号を繰り上げないで下さい。その他の添付資料については「添付資料ー６」から添付資料番号をつけて下さい。* |

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

様式―３

技　術　提　案　書

　　※選択肢がある場合はあてはまるものに○を付けて下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 応募者名： | 技術名（商品名）： |
| 公募において求める技術内容 | 応募技術の内容 | 根拠が記載された資料番号・頁を記入 |
| （１）現場適用性 | ○技術の性能について記載してください。　①調査可能な構造物の種類および調査可能条件について記載して下さい。（複数可）　・　　　　　　　　　　　：条件（　　　　　　　　　　　　）* ：条件（　　　　　　　　　　　　）
* ：条件（　　　　　　　　　　　　）

②検知性能について記載して下さい。（構造物ごとに空洞を検出可能な範囲、測定できる空洞の大きさ等を記載）　・　　　　　　　　　　　：検知範囲　　ｍ、検知精度　　　　　・　　　　　　　　　　　 ：検知範囲　　ｍ、検知精度　　　　　・　　　　　　　　　　　 ：検知範囲　　ｍ、検知精度　　　　 |  |
| （２）経済性 | ○実施する際の費用及び機器購入費等について、記載してください。　機器運搬費　　　　（　　　　　　　　　円）　設置・撤去費　　　（　　　　　　　　　円）調査費　　　　　　（　　　　　　　　　円／　　　　）　機器管理費　　　　（　　　　　　　　　円）　購入費(リース費)　（　　　　　　　　　円）　その他必要な費用　（　　　　　　　：　　　　　　円）○従来技術の費用及び機器購入費等について、記載して下さい。（従来技術名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）機器運搬費　　　　（　　　　　　　　　円）　設置・撤去費　　　（　　　　　　　　　円）調査費　　　　　　（　　　　　　　　　円／　　　　）　管理費　　　　　　（　　　　　　　　　円）　購入費(リース費)　（　　　　　　　　　円）　その他必要な費用　（　　　　　　　：　　　　　　円） |  |
| （３）検査・分析に要する時間と分析結果の出力形式 | ①現地での設置・撤去、調査等に必要な時間を記載してください。　準　備　　　　　　　　　（　　　　　　時間）　設　置　　　　　　　　　（　　　　　　時間）　調　査　　　　　　　　　（　　　　　　時間／　　　　　　）　撤　去　　　　　　　　　（　　　　　　時間）②分析に必要な時間および結果の出力形式を記載して下さい。分　　析（　　　　　　　　日／　　　　　　　）　出力形式（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| （４）確実性 | ○調査結果の検証方法について記載してください。（複数可）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| （５）検査・分析に係る汎用性 | ○現地作業及び分析の汎用性について、記載してください。①任意の作業員による調査の可否　　　（　可　・　否　）②任意の作業員による分析等の操作　　（　可　・　否　）③その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| **○上記以外で特に提案したい技術性能・特徴があれば、ご自由に記載してください。** |  |

様式―３

技　術　提　案　書　　記載例

　　※選択肢がある場合はあてはまるものに○を付けて下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 応募者名： | 技術名（商品名）： |
| 公募において求める技術内容 | 応募技術の内容 | 根拠が記載された資料番号・頁を記入 |
| （１）現場適用性 | ○技術の性能について記載してください。①調査可能な構造物の種類および調査可能条件について記載して下さい。（複数可）　・河川堤防の樋管（タイプＡ）：条件（堤高６m以下）・河川堤防の樋管（タイプＢ）：条件（樋管径φ2,000mm以下　構造物厚さt=40mm以下 ）②検知性能について記載して下さい。（構造物毎に空洞を検出可能な範囲、測定できる空洞の大きさ等を記載）　・河川堤防の樋管周辺の空洞（タイプＡ）：検知範囲6.0ｍ検知精度 空洞径500mm　・河川堤防の樋管周辺の空洞（タイプＢ）：検知範囲4.0ｍ検知精度　空洞径500mm |  |
| （２）経済性 | ○実施する際の費用及び機器購入費等について、記載してください。　機器運搬費　　　　（　　　　　　　　　円）　設置・撤去費　　　（　　　　　　　　　円）調査費　　　　　　（　　　　　　　　　円／　　　　）　機器管理費　　　　（　　　　　　　　　円）　購入費(リース費)　（　　　　　　　　　円）　その他必要な費用　（　　　　　　　：　　　　　　円）○従来技術の費用及び機器購入費等について、記載して下さい。（従来技術名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）機器運搬費　　　　（　　　　　　　　　円）　設置・撤去費　　　（　　　　　　　　　円）調査費　　　　　　（　　　　　　　　　円／　　　　）　管理費　　　　　　（　　　　　　　　　円）　購入費(リース費)　（　　　　　　　　　円）　その他必要な費用　（　　　　　　　：　　　　　　円） |  |
| （３）検査・分析に要する時間と分析結果の出力形式 | ①現地での設置・撤去、調査等に必要な時間を記載してください。　準　備　　　　　　　　　（　　　　　　時間）　設　置　　　　　　　　　（　　　　　　時間）　調　査　　　　　　　　　（　　　　　　時間／　　　　　　）　撤　去　　　　　　　　　（　　　　　　時間）②分析に必要な時間および結果の出力形式を記載して下さい。分　　析（　　　　　　　　日／　　　　　　　）　出力形式（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| （４）確実性 | ○調査結果の検証方法について記載してください。（複数可）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| （５）検査・分析に係る汎用性 | ○現地作業及び分析の汎用性について、記載してください。①任意の作業員による調査の可否　　　（　可　・　否　）②任意の作業員による分析等の操作　　（　可　・　否　）③その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  |
| **○上記以外で特に提案したい技術性能・特徴があれば、ご自由に記載してください。** |  |

対応可能な構造物、

観測可能な規格等の条件について記載して下さい。

調査費については「100㎡あたり」等の金額の単位数量を記載して下さい。

リース費については、「1日あたり」等の金額の単位数量を記載して下さい。

それ以外については調査１回あたりの金額を記載して下さい。

不要な項目については「－」を記載して下さい。

調査、分析に要する時間ついては「100㎡あたり」等の単位数量を記載して下さい。

出力形式は探査チャート、反射波画像、3D画像、CADデータ等の調査結果の形式を記載して下さい。

調査により確認された空洞の有無、範囲の詳細を確認するための検証方法（空洞測深、CCDカメラ等による観察等）を記載して下さい。

特殊な免許、資格等を必要としない技術者により調査・分析が可能か記入して下さい。

（２）～（５）については「樋門・樋管」を対象とした内容で記載して下さい。

様式―４

調査実績内訳書

*調査実績がある場合は、最新の10件までを記入して下さい*

公募テーマ名：　　　　　　　　　　　　　　技術名：　　　　　　　　　　　　　　申請者名：

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発注者*（国・地方自治体・民間等）* | 業務名称 | 調査箇所*（○○県○○市等）* | 調査年 | 業務内容*（調査数量○○ｍ等）* | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

*注１）調査実績がない場合は、「実績なし」と記入し、提出して下さい。*

*注２）この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。*